

日本航空 × 高知県大豊町 包括連携協定の締結を通じた取り組みについて

日本航空株式会社(本社:東京都品川区、社長:赤坂 祐二、以下「JAL」)と高知県長岡郡大豊町(町長:大石 雅夫)は、これまで町の固有産物である銀不老豆^{※1}の生産協力や豆を使用した商品の国内線機内食での提供を通じ地域活性化に向けて協働してまいりました。2022年3月1日には、相互の連携を強化し、特産品の商品化、地産外商、観光振興に協働で取り組み、継続的な物流/人流を促進し、さらなる地域活性化を図ることを目的に「地方創生の推進に向けた連携協定書」を締結いたしました。

今後は連携協定を通じ、特産品の商品化、地産外商、観光振興に協働で取り組み、継続的な物流/人流を促進し、さらなる地域活性化に挑戦してまいります。

※1 銀不老豆とは:大豊町の西豊永地区で栽培されてきたインゲン豆の一種。美しい黒光りした見た目が特徴で、豆に含まれる多くの機能性成分により体力が衰えない、老いることがないといわれることからその名がついている。



(協定調印式 写真)

1. 目的

双方の保有する資源を有効に活用することで、大豊町における地方創生を推進することを目的とします。

2. 連携・協力事項

- ①特産品の商品化、地産外商、観光振興など産業振興に関すること
- ②交流人口拡大への取組
- ③その他、地方創生の推進に関すること

3. 協定締結による取り組み(今後の予定を含む)

- ①特産品の商品化、地産外商、観光振興など産業振興に関すること

大豊町の固有産物である銀不老豆の生産拡大を目指して「大豊町銀不老生産組合」と連携し、JAL 専用畑で銀不老豆の生産を行っています。今後は更なる認知度向上による地域活性化に向けて、銀不老豆を使った新たな商品の開発に取り組んでまいります。

- ②交流人口拡大への取り組み

大豊町の食や観光、農作業といった資源を組み合わせさせたツアーの造成、集客を通じて、交流人口の拡大を目指してまいります。

4. 2022 年度の取り組み

①大豊町内で JAL 専用畑として土地をお借りし、大豊町銀不老生産組合との共働にて銀不老豆の生産を行いました。5 月から
種植えに向けて畑の整備作業を行い、11 月の収穫までに計 7 回の作業を行ってまいりました。今年度は JAL 専用畑で約 60
キロの豆を収穫しており、今後はさらに生産量拡大に貢献できるよう協力を続けてまいります。



(畑種植え時の集合写真)



(銀不老豆)

②大豊町の今後の観光振興につながるツアーの造成に向けた社内向けのファムツアーを 11 月に実施いたしました。高知県
外から JAL グループ社員 18 名が参加し、1 泊 2 日のスケジュールで大豊町の観光施設や宿泊施設を訪れました。実施後の
アンケートを通じた集計データをもとに、大豊町の目指す観光振興に向けて協議、協働を重ねてまいります。



(ファムツアー実施時の写真)

JAL はこれからも地域社会に寄り添い、共に考え行動し、人と社会と世界をつなぐことにより、地域活性化に貢献してまいりま
す。

以上